

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2005-232312(P2005-232312A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2004-43226(P2004-43226)

【国際特許分類】

C 0 9 K 17/10 (2006.01)

C 0 4 B 7/19 (2006.01)

C 0 4 B 7/32 (2006.01)

C 0 4 B 22/08 (2006.01)

C 0 4 B 22/14 (2006.01)

C 0 4 B 28/08 (2006.01)

C 0 9 K 17/02 (2006.01)

C 0 9 K 17/06 (2006.01)

C 0 4 B 111/70 (2006.01)

C 0 9 K 103/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 17/10 P

C 0 4 B 7/19

C 0 4 B 7/32

C 0 4 B 22/08 Z

C 0 4 B 22/14 B

C 0 4 B 28/08

C 0 9 K 17/02 P

C 0 9 K 17/06 P

C 0 4 B 111:70

C 0 9 K 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月6日(2006.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高炉スラグ微粉末及びポルトランドセメントからなるブレン値が8000～15000 cm<sup>2</sup>/gの微粒子セメント(a)と、アルミナセメント(b)及びブレン値が5000 cm<sup>2</sup>/g以上のII型無水石膏(c)を含んでなる土質安定用薬液であって、質量比 b : c = 3～23 : 97～77及び ( b + c ) / ( a + b + c ) = 10～35%の範囲で水懸濁液として用いることを特徴とする土質安定用薬液。

【請求項2】

高炉スラグ微粉末およびポルトランドセメントからなるブレン値が8000～15000cm<sup>2</sup>/gの微粒子セメント(a)と、アルミナセメント(b)およびブレン値が5000 cm<sup>2</sup>/g以上のII型無水石膏(c)を含み、質量比 b : c = 3～23 : 97～77及び ( b + c ) / ( a + b + c ) = 10～35%の範囲で配合された混合物を、水と混練して地盤内に注入することを特徴とする地

盤安定化工法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、第二の発明は、「高炉スラグ微粉末およびポルトランドセメントからなるブレン値が $8000 \sim 15000 \text{ cm}^2/\text{g}$ の微粒子セメント(a)と、アルミナセメント(b)およびブレン値が $5000 \text{ cm}^2/\text{g}$ 以上のII型無水石膏(c)を含み、質量比  $b : c = 3 \sim 23 : 97 \sim 77$  及び  $(b + c) / (a + b + c) = 10 \sim 35\%$  の範囲で配合された混合物を、水と混練して地盤内に注入することを特徴とする地盤安定化工法。」を要旨とする。